

平成 27 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（深島・屋形島）

1. 集落協定の概要

都道府県名：大分県

市町村名：佐伯市

島名：深島・屋形島

協定締結集落名：深島・屋形島漁業集落

交付金額：1,632千円

(1) 基本交付金：1,632千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0千円

協定参加世帯数：12世帯、20人（うち漁業世帯12世帯、20人）

都道府県の都市部の勤労者世帯の有業者一人当りの平均勤め先収入 3,662,608円

集落の平均漁業者所得 325,314円（平成26年）

2. 協定締結の経緯

大分県の南東端に位置する佐伯市深島・屋形島周辺の海域は、起伏の多い天然礁や、大小無数の岩礁が形成されており、海流は瀬戸内海の低温水と黒潮から流入する高温水とが混合流となることにより栄養豊富な海域となっている。地元漁業者は、このような良好な自然環境に恵まれた漁場を利用して、巻き網漁業、一本釣り漁業、刺し網、緋扇貝・イワガキ養殖などを営んでいる。しかしながら漁業が基幹産業である本地区においても、漁業者の減少や高齢化、水産資源の減少などにより漁獲量は減少傾向にある。このまま放置すれば本地区の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も低下する可能性がある。

このため、本地区における漁業を維持・再生させていくことが重要であり、漁場の再生に関する集落での話し合いを通じて、漁場の生産力の向上に関する取り組みや、漁場の再生に向けた新たな取り組みを実践的に取り組める環境を整えるため、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動を実施することとした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

種苗放流により資源の維持、増大を図った。

活動内容		実施日	数量	サイズ(mm)	経費(円)
種苗放流	アサリ	12月8日～12月9日	2,810kg (屋形島1,600kg 深島1,210kg)	30	1,459,962

放流後の調査を行うことにより漁場の管理を図った。

活動内容		実施日	参加人数	経費(円)
漁場の維持・管理	放流効果調査	2月25日～2月26日	のべ9人	74,430

人工産卵礁や放流効果等の研修を行うことにより、今後の活動内容の検討や意識啓発を図った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
産卵場・育成場の整備	研修会	3月15日	6人	30,000

4. 取組の成果

①種苗放流については、集落構成員が管理しやすいアサリの放流を行った。1回目は12月8日に屋形島、2回目は12月9日に深島で実施した。今回初めての放流のため平成28年度以降の実績となるが、今後も引き続き実施することにより放流効果を上げ、水揚量の増加が期待される。



アサリ種苗放流:屋形島 (H27. 12. 8)



アサリ種苗放流:深島 (H27. 12. 9)

②放流したアサリの効果調査を2月25日に深島、26日に屋形島で実施した。各島とも残存個数に偏りがある場所があり、今後の効果的な放流効果を得るための放流箇所の推定ができた。今回の調査によって、平成28年度以降の実施予定の放流について貴重な調査結果を得ることができた。



放流効果調査:深島 (H28. 2. 25)



放流効果調査:屋形島 (H28. 2. 26)

③産卵場・育成場の整備として人工産卵礁や人工海藻の仕組みや効果、またアサリ種苗の放流効果についての研修会を3月15日に実施した。人工産卵礁はアオリイカの資源増加、人工海藻は稚イセエビの着底を目的として今後実施する予定である。今後の設置場所等の検討も併せておこない、有意義な研修となった。



研修会 (H28. 3. 15)